

# ぼうしの詩人賞

あつまれ！ 未来の中也たち！

## ぼうしの詩人賞

「ぼうしの詩人賞」は山口市内の小学生・中学生を対象とした創作詩のコンクールです。

市内の小中学生が「中原中也」や「詩」に触れる機会を作るために2016年に創設、帽子をかぶった中也の写真のイメージから「ぼうしの詩人賞」と名付けました。

表彰にあたって、入選者による自作朗読の場を設けているのも、中也が朗読を好み、声を通じて詩作を人々に伝えていたことにちなんでいます。

## 第2回

応募総数 69 篇

応募校数 7 校

表彰式 2017年10月22日(日)

於 中原中也記念館

第二回「ぼうしの詩人賞」には、昨年の応募数を上回る69作品が寄せられました。どの作品からも、小さな詩人たちがそれぞれの思いを言葉に乗せて伝えようとする姿が見えてきました。言葉の選び方だけではなく、文字の使い分け等で視覚的に魅せたり、擬音語や同音語の繰り返して聴覚的にも訴えたりと、小さな詩人たちの工夫がありました。そのため、今回の審査も本当に難航しました。

最優秀賞「とうめいなさがしもの」（附属山口中学校1年・吉長陽香）は、題名をはじめ、すべてひらがな表記にすることで透明感が生まれました。また、言葉にならないものを淡々と平明な言葉で表すおもしろさからは、詩的感性の豊かさも感じられました。

優秀賞4点も豊かな感性や表現力で読む者を惹きつけました。

「せみとり」（湯田小学校1年・又野衣織）は、蝉を捕る緊張感や喜びを繰り返しや擬音語、「せみがしゃがむ」など独特の表現で上手に表しました。「おひさま」（湯田小学校1年・山室美空）は、1年生らしい不思議な思いに従って周りを見る素直な目と心が、とてもリズムカルに描かれています。「テスト」（大殿中学校1年・藤野敦也）は、臨場感あふれる作品でした。中学生らしいテーマを誰もが共感できるような言葉や繰り返し表現で伝えました。「風」（附属山口中学校3年・吉宮敬子）で感心したのは、見る・感じる・表現する力でした。風が何を意味しているのか、読後も「風」の世界にたゆたう作品でした。

今回から誕生した館長賞には、「とってー」（湯田小学校3年・又野莉瑚）が選ばれました。「とってー」という音のおもしろさ、最後にお父さんと分かる構成。温かな家族とみんながお父さんを大好きだという気持ちがぐんぐん迫ってくる詩でした。

他にも、ユーモアのある比喩にクスリとして愛着が湧く「にこみ合うぼくら」（附属山口中学校3年・柳雄介）。中也のまなざしが見えるような「優しいソナタ」（附属山口中学校2年・中村彩乃）の擬人化。目をつぶって場面を想像すると美しい「水」（附属山口中学校1年・那須葵）。繰り返しの秘密を知りたい気持ちが高まる「くもさん くもさん」（大殿小学校4年・塩田奈央）。

今、これを読んでいるあなたも、あなたの目で、耳で、心で感じたことを言葉にしてみませんか。来年、小さな詩人のあなたの作品と出会えますように。

## 審査員

- 上田 保明（元小学校校長）  
佐伯 玲子（元中学校校長）  
三好 郁子（詩人）  
福田 百合子（中原中也記念館名誉館長）  
中原 豊（中原中也記念館館長）

## ぼうしの詩人賞・最優秀賞

### 「とうめいなさがしもの」

よしなが  
吉長

はるか  
陽香さん（山口大学教育学部附属山口中学校1年）

### 優秀賞

「せみとり」

またの  
又野

いおり  
衣織さん（湯田小学校1年）

「おひさま」

やまむろ  
山室

みく  
美空さん（湯田小学校1年）

「テスト」

ふじの  
藤野

あつや  
敦也さん（大殿中学校1年）

「風」

よしみや  
吉宮

のりこ  
敬子さん（山口大学教育学部附属山口中学校3年）

### 館長賞

「とってー」

またの  
又野

りこ  
莉瑚さん（湯田小学校3年）